

# 平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

## ■ 施設名

横浜市大豆戸地域ケアプラザ

## ■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、事業実績評価との共通部分

### 1 全事業共通

#### (1) 地域の現状と課題について

地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域住民が住みなれた地域で生活を継続できるように、介護、医療、生活支援、介護予防を充実していく必要があります。

平成 29 年 3 月現在人口 64,641 人、高齢者人口 12,000 人うち後期高齢者 5,647 人です。介護保険認定者数は、要支援者は 562 人、要介護 1～2 は 819 人、要介護 3～5 は 817 人となっています。要介護認定率は平成 20 年 9 月では区内ケアプラザ 9 ケ所の内一番低く、市内 137 ケ所のうち 117 番目であったのが、平成 29 年 3 月には区内ケアプラザで一番高く、市内でも 6 番目に高くなり、ここ数年で介護保険を利用されている方が非常に増えた地域です。今後も住民の年齢分布状態から読み取っても、さらに要介護認定者が増加していくことが予測されます。高齢者世帯、単身世帯の増加から、地域で継続して生活をしていくことが難しいケースが増え続けることも予測されます。地域住民へ自立、互助の必要性を理解していただき、介護予防を勧め、地域住民同士がお互いに支え合える仕組みを作っていくためのサポートが必要です。

#### (2) 総合相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

相談窓口においては、高齢、障がい、子ども、医療等の各分野の制度や情報の収集は日頃から意識し、担当者が不在にならないよう勤務調整を行い、速やかに情報提供できるように努めました。また、訪問等による不在時には、所内の連携による対応ができるよう、日頃から情報共有を行いました。

地区社協の定例会議、民児協定例会へは、必ず職員 1 名が出席し、地域の状況、環境等についての情報収集や情報共有を行い、顔の見える関係づくりを行いました。また、各地区にて出張相談会を実施し、ケアプラザを来訪しての相談が困難な方や、地域住民との関係づくりにも努めました。

毎月の区との定例カンファレンスではケース会議を実施し、多岐にわたる相談や、緊急を要する相談に関しては、随時区役所の担当者との連携を図り、迅速に対応できるように努めました。

障がい分野に関しては、障がい児の余暇支援事業参加者からの相談を受け、担当エリアに属する地域活動ホームの相談員へ繋ぎ、日頃から悩みなどを相談できる関係者との連携を図りました。

### (3) 各事業の連携

毎朝朝礼を行い、互いの業務内容について情報共有を行い、連絡漏れの無いよう努めました。また、包括3職種、地域活動交流、生活支援合同の5職種会議、包括3職種の会議、予防プランナー会議などを定期的に行い、職種ごとの課題やテーマを共有し、連携を深めました。

各部門の会議は、全職種が参加をする職員会議を開催し、各取り組みや課題について共有、連携を行いました。

### (4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

ケアプラザの業務は、地域包括支援センター、居宅介護支援事業など、それぞれの専門に応じて一定の資格が必要であるため、当ケアプラザにおいてはそれぞれの事業毎に必要な資格要件を満たした職員を、人員配置基準に従って適正に配置しています。

法人内外で開催される研修・勉強会への参加を支援し、また内部での伝達研修を実施することにより、OJT教育の徹底、全職員の専門性・総合的な能力の向上に努めました。

必要に応じて管理職との面談を行い、更に職場内でのコミュニケーションの活性化を図りました。

それぞれの専門分野に限らず、総合的で多様な問い合わせなどにも対応できるよう、職員会議等で情報を周知しあい、職員の育成に努めました。

### (5) 地域福祉保健のネットワーク構築

「ひっとプラン港北」第三期の2年目として、28年度の取組について振り返りを行うとともに、目標達成のため、地域が主体となって取り組めるよう、区役所、区社協と連携して支援を行いました。

地域の関係団体等の定期的な会合へ参加し、積極的に情報交換及び調整を行いました。また、各団体の地域行事などに地域ケアプラザとして出展をし、各団体との関係構築と関係の継続、地域資源の発掘、行事を通してケアプラザとしての情報提供に取り組みました。

### (6) 区行政との協働

毎月地域定例カンファレンスを開催し、港北区役所職員と港北区社協職員と情報交換を行い、地域課題解決に向けて取り組みました。

定例地域カンファレンス終了後には区役所、区社協、ケアプラザ三者で個別ケースのカンファレンスを行い、情報の共有、課題解決に向けての意見交換を行いました。

区内の職種別会議に参加をし、会議で得た情報をケアプラザ内で開催する会議にて共有、周知を行いました。

## 2 地域活動交流事業

### (1) 自主企画事業

高齢・子育て・障がいなど、年齢や対象にとらわれず、地域課題及びニーズの情報収集を行い、福祉保健活動へ発展させることを目的とした事業の企画・実施を心がけました。

28年度より開催していた「初めての川柳講座」は、参加者からの希望があり、自主化となりました。

29年度より開催した、乳幼児とその保護者を対象とした「まめっこくらぶ」では、参加者からのアンケートや要望から、リトミック教室やヘルスメイト共催によるおやつ作りを実施し、ニーズの収集と事業への反映を速やかに行えるよう、運営を行いました。

障がい児余暇支援事業や、夏休み期間中に区役所、地域活動ホーム等と共催で実施している「なつとも」のアンケート結果から、個別支援級の児童を対象に「職業体験」と就労支援施設と共催したところ、定員数を拡大し、述べ9名での実施を行いました。

毎年開催しているワクワクまつりは、29年度も国際交流ラウンジと共催で行い、述べ1,350名の方にご来場いただきました。地域住民や団体のご協力による模擬店の他、ステージ発表などのイベントを行い、大盛況の元、終わることが出来ました。

### (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

29年度より施行された「施設利用マニュアル」と、年に1度実施する「利用者アンケート」より提出された意見を基に、より適切な施設利用していただけるよう、貸室利用申し込みの期日や、休館日、ルールについて館内へ掲示をし、周知の徹底を行いました。

新規登録を希望される団体に関しては、公平な登録と施設利用がなされるよう、区役所及び区内の他ケアプラザと情報を共有し、対応を行いました。また、既存の団体に関しても、団体区分などの考え方を他のケアプラザと共有し、区内で統一した対応が取れるよう協力しました。また、区分Ⅰへ登録変更を行った団体の事業開催にむけた支援を必要に応じて行いました。(11月24日・まめど合唱団による歌の会開催)

### (3) ボランティアの育成及びコーディネート

高齢者の生きがい作り支援のため、よこはまシニアボランティアポイント事業の登録研修会を開催し、参加者8名の方に登録していただくことが出来ました。内、3名の方にケアプラザでのボランティア登録をしていただき、デイサービスでの活動につなげることができました。

月一度、ボランティア連絡会を開催し、施設見学会のコーディネートやボランティア同士の情報交換の場を提供しました。

貸室登録団体の区分Ⅱに該当する団体への支援として、「まめどのサロン(月1開催)」の事業協力(5団体)や調理室清掃(2団体)などを福祉保健活動としてつなげました。

エリア内の通所介護施設からの依頼を受け、貸室登録団体のボランティア活動先としてコーディネートを行いました。

#### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

地域の課題やニーズを把握するために、地域の関係団体等（町内会、地区社協、民生委員、保健活動推進員、地域住民、行政等）からの情報収集に努めました。

29年度は、大倉山さくらまつり、らくらく市、どろっぷデー、ウォータープラザまつり、3R夢まつり、大倉山ささえあいまつりなどに参加をし、地域住民との交流やケアプラザ及び事業の周知、広報を行い、情報提供に努めました。

ケアプラザの事業や地域での活動などについて、季刊発行のケアプラザ広報紙や区内報などを活用して、地域や関係団体及び関係機関へ向けて情報提供を行いました。また、法人のホームページやケアプラザ独自のブログも活用し、様々な媒体を通じた情報の提供に努めました。

月に1度開催される港北区コーディネーター連絡会や子育て支援施設どろっぷによるココめーる編集会議、港北区5職種全体会などに参加し、担当エリアに限らず、港北区内の情報収集についても努めました。

### 3 生活支援体制整備事業

#### (1) 事業実施体制

地域アセスメントを勧め、菊名地区、大倉山地区それぞれの支援ニーズと、資源を把握したうえで地域にとって必要とされる活動を検討、区、社協、ケアプラザ5職種が定期的に会議を開催して地域の情報を共有し、事業の展開等に地域住民の理解と協力が得られるように努めました。

#### (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

28年度に実施した、地域アセスメントからさらに29年度情報収集した内容を重ね合わせて、ニーズ・資源を把握、分析しました。

地域、地区社協、ひっとプランの会議等、民児協、地域ケア会議等を通して、地域住民に、広く地域の現状をお伝えし意識の統一が図れ、理解、協力をしていただけよう努めました。

#### (3) 連携・協議の場

民生委員、保健活動推進員の方々が地域で行っている活動、地域で小さな集団（菊名を良くする会、お出かけバスなど）が、地域を考える場を持っているので参加して連携を図り、そのノウハウを地域資源として生かせるよう支援しました。

#### (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

関係機関と連携して、情報の共有化を図り、お互いの役割の中で活動を行いました。地域での活動を把握して、活動の範囲を広げるために必要なときは、各必要機関と連携できるよう配慮しました。

## 4 地域包括支援センター運営事業

### (1) 総合相談支援業務

#### ① 地域におけるネットワークの構築

行政機関や民生委員、介護保険サービス事業者、インフォーマルサービス等の事業者と共に地域の情報収集を行いました。地域住民が、住み慣れた自宅で暮らし続けられるように、情報を関係機関で共有し、地域のネットワークを構築していきました。また、地域課題を抽出、検討するために地域ケア会議を開催致しました。

#### ② 実態把握

行政機関や地域の関係者（民生委員など）、介護支援専門員とのネットワーク構築に努め、カンファレンスや地域での話し合いを開催しました。密接な連携と情報共有を図り地域のニーズ把握に努めました。

ケアプラザで相談を受けるだけでなく、ケアプラザに来られない方たちのために地域に出向き、出張相談会を開催し、実態把握に努めました。

#### ③ 総合相談支援

相談窓口においては、高齢、障がい、子ども、医療等の各分野の制度や情報の収集は日頃から意識し、担当者が不在にならないよう勤務調整を行い、速やかに提供できるよう努めました。

相談窓口はもちろんの事、民生委員の会合への出席や出張相談会を通し、地域の高齢者の心身の状況や生活環境の把握に努めました。

内容が多岐にわたる相談には、区との情報共有を随時行い、連携した対応が行えるよう、毎月の区との定例カンファレンスではケース会議を実施しました。

地域の拠点に出向く相談会は、大豆戸・新横浜地区に関して継続して行いました。

### (2) 権利擁護業務

#### ① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

高齢者の権利擁護に関しては、相談者自らが主体的に問題解決に当たれるように、専門識者とも連携して、専門的・継続的な視点から支援していきました。

行政書士会と連携した相談会を年1回、弁護士の無料相談会を年1回実施しました。また、成年後見制度の講演会を各地域で年3回行いました。大豆戸CP内でも年1回、司法書士との相談会と一緒にいきます。

消費者被害の啓発として引き続き、注意勧告させていただきながら情報提供を行っています。

また、大豆戸CPにおいて消費者被害の講演会を年1回開催しました。

## ② 高齢者虐待への対応

高齢者虐待の相談や通報、見守り等から虐待予防や早期発見対応を心がけ、区に報告し連携に努めました。

チームケアの視点からネットワークづくりを目指せるよう、区と高齢者虐待防止連絡会の実施を継続しました。

また、虐待防止ハンドブックを地域へ広めていくために地域のケアマネ事業所・サービス事業所に出向き、ハンドブックの研修会を開催しました。所内においても民生委員とケアマネジャーとの交流会のなかで虐待防止ハンドブック研修を行いました。ケアマネジャーにおいては各事業所で独自でハンドブック研修を行えるよう普及をめざしていきました。

## ③ 認知症

認知症に強いまちづくりを展開していくために、地域住民向け、事業所向けのサポーター養成講座を開催、キャラバンメイトの活用、新しい人材の養成を行い、より多くの方々にサポーターになって頂き、地域での認知症への理解を深め、安心して生活できる環境づくりができるよう活動しました。

認知症サポーター養成講座用に、地域住民に協力して作成したオリジナルのDVDを活用して多くの方々に理解していただけるよう努めました。

認知症予防講座、スリーA教室を開催しました。認知症カフェの支援、開催、勉強会の開催などを行いました。

また、区の徘徊SOSネットワークの会議等に参加し、共にネットワーク作りに取り組みました。港北区図書館に啓発用ポスターを作り展示しました。

## (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

### ① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

地域住民に対して出張相談会を開催しました。介護予防や認知症予防講座、介護保険制度や成年後見制度など、関係機関と協力して啓発活動を行いました。

民児協の定例会に毎月参加し、民生委員さんとの顔の見える関係を構築してケアマネジャーからの個別相談ケースとの迅速な連携を図りました。

### ② 医療・介護の連携推進支援

エリア内の「新横浜フォレストクリニック」院長先生の協力で勉強会を開催しました。また、ケアプラザ協力医の来所に合わせて医療連携の必要なケースの相談、地域ケア会議への助言をお願いしました。

エリアの医療機関、薬局に対して地域包括支援センター・地域交流・地域支援コーディネーターの業務についての案内と広報紙を3ヶ月に一度持参し訪問を行いました。ケアプラザの周知や顔の見える関係を構築できるように努めました。

定期的開催される港北区高齢者支援ネットワーク研修会に参加して、医療・介護、多職種連携につとめました。

篠原地域ケアプラザ、樽町地域ケアプラザ、城郷小机地域ケアプラザ共催で「医師とケアマネジャー懇談会」を開催しました。

### ③ ケアマネジャー支援

支援困難ケースの相談による同行訪問や、サービス担当者会議への出席依頼に対して3職種6名で連携して積極的に対応しました。

新任・就労予定ケアマネジャーに対して区内地域ケアプラザ、区高齢障害支援課と共催で「横浜市一般行政サービス」の勉強会、懇談会を開催しました。

篠原地域ケアプラザ、樽町地域ケアプラザとの共催で就労1年未満で参加申し込みのあったメンバーに対して年4回の研修を開催しました。同じくケアマネジャーOB会に対しても支援を行いました。

### (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

#### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

港北区高齢者支援ネットワークの年3回の研修を通して多職種の連携を図りました。

ガンバ港北担当として役員会、研修会に参加しました。多職種協働のネットワーク構築に努めました。

区役所、民生委員、港北警察署、消防署、居宅介護支援事業所等と連携して「個別地域ケア会議」3回、「包括地域ケア会議」2回と開催しました。

### (5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

#### 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

お客様のできることを共に発見し、地域のつながりを維持しながら、有する能力に応じた柔軟な支援を行い、自立意欲の向上に繋げていくよう支援しました。

介護予防支援計画は生活機能の低下が生じた原因に対応し、且つ効果がみられるものとなりました。

お客様の介護予防支援計画を作成するに当たり、いつまでに目標が達成できるかわかるように、具体的な目標をたてました。

プラン作成時は、サービスの実施状況や効果を評価し、横浜市介護予防・日常生活支援総合事業も含めお客様、ご家族の要望をお聞きしてサービスの内容の見直しをしました。

### (6) 一般介護予防事業

#### 一般介護予防事業

高齢者を対象に住み慣れた地域でいきいきと元気に過ごせるよう、ロコモティブシンドローム予防、膝、腰痛予防体操と口腔、栄養プログラム、認知症予防のスクエアステップ、スリーAなどを事業展開し、29年度は特に男性が参加しやすいように、男性限定のプログラムとして男性の自立のための料理教室&健康講座として、2クール開催しました。

地域活動のボランティアの方々、高齢者を支える支援者の方々が元気でいられるための、ダンス教室を月1回開催しました。

29年度から大倉山防犯拠点センターで月1回、認知症予防スリーA教室開催、新横浜自治会館で月1回スクエアステップ開催、地域での自主事業として、ニュー菊名ハイツ集会室、錦が丘自治会館でのスリーA教室が月1回開催されました。

大倉山元気づくりステーション、元気づくりステーション菊名の後方支援、まめゆ

る一む、スクエアステップ、元気づくりステーションへ、地域リハビリテーション活動支援事業からリハビリ専門職を年1回派遣して支援者への指導等行い、通いの場の充実を図りました。

## 5 その他



以下、地域ケアプラザ事業実績評価との相違部分

## 7 施設の適正な管理について

### (1) 施設の維持管理について

ケアプラザは、高齢者、障がい者、乳幼児等、心身の状態が不安定な方も含めて、地域の様々な方が利用されます。建物の空調設備、電気設備、消防設備、自動ドア、エレベーター等の保守点検を定期的に行い、安全確保と設備が正常に作動することを最優先の上、館内の清掃及び消耗品の補充等を行い、地域の皆様が快適に安心して施設を利用し、サービスが受けられるよう、施設の維持管理に努めました。

また、横浜市の長寿命化工事にて平成 29 年 10 月～平成 30 年 1 月にかけて外壁改修工事を行いました。

### (2) 効率的な運営への取組について

当法人が指定管理であるケアプラザが 20 か所というスケールメリットを生かして、それぞれのよいところを吸収しあいながら事業を展開しました。

ケアプラザの労務、経理、介護保険請求事務等の事務処理に関しては、法人本部と連携し法人内の全ケアプラザの事務担当会議を定期的を開催し、情報交換をし、効率的な事務処理に努めました。

使用頻度の高い消耗品類は、法人全体で調査し、できるだけ低価格の業者を選び、コスト削減に努めました。

### (3) 苦情受付体制について

法人で苦情解決規則を定めており、それに基づきケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して、ご利用者からのご意見、ご要望、また苦情等に対応しました。

ケアプラザ玄関脇の職員から見えない場所に意見箱を置き、自由な意見を出しやすいようにしました。苦情を真摯に受け止め、原因・事実関係を明らかにし、体制を改善し再発防止に努めました。

また法人では公正・中立の立場からあつせん、調整を行う第三者委員を設置し、適切な苦情解決に向けての体制を整備し、取組を図りました。

### (4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

ケアプラザでは緊急時（防犯・防災等）に備え、対応マニュアル、連絡網を整備しています。緊急事態となった場合には、救助や消防・警察への通報など 1 次対応を行い、合わせて法人本部を含め情報を共有するとともに、市・区等関係者に連絡し適切に処理しました。

防災に対しては消防計画等を策定し、港北消防署の協力を得て、年 2 回の防災訓練を行いました。（29 年 9 月 7 日、29 年 3 月 7 日）

防犯に対しては、日中は職員が巡回を行い、夜間は機械警備を行いました。

また、港北区と特別避難場所として協定を締結し、災害時に地域防災拠点では避難生活を送ることが困難な高齢者などの避難場所としての役割を担いました。

防災備蓄庫には、毛布・おむつ・食料品・水等の物資ほか簡易トイレ等を常備し、不備の無いよう定期的に点検し、非常時に備えました。

(5) 事故防止への取組について

事故の再発防止に向けて、事故が発生したら、法人本部に第1報を入れ、その日のうちに原因を究明・分析し、対応策を検討・実施後報告書を作成し、状況に応じて区と市に報告します。ヒヤットしたときは、ヒヤリハット報告書を作成し予防策を検討し、事故を未然に防止します。

また所内の各種会議で事故及びヒヤリハットを報告し話し合い、職員全体に周知・徹底するとともに事故防止への意識を高めました。毎月開催される法人内のケアプラザ所長会では、他の事業所での事故の事例を報告し合い共有することで、事故再発防止に努めました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

法人では個人情報保護規程を定め、各事業所で個人情報の管理に関する担当者、責任者を定めています。また法人本部で実施される個人情報保護、情報セキュリティ研修を受講し、啓発に努めています。

実際の個人情報の取り扱いとして、契約書、記録類は施錠できる書棚や机引き出しなどで保管することとし、携帯がどうしても必要な場合には、専用のバックに入れ、紛失や情報漏えいのないよう、個人が特定できないようマスキングを行い管理者に確認を得る等し、最小限の情報のみを携帯するようにします。また、個人情報データはサーバーにて管理し個人情報漏えいには万全を期しました。

(7) 情報公開への取組について

法人では、横浜市が制定する、「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」の趣旨に基づき、情報公開規程を定めています。

また、ホームページはタイムリーに更新し、各種事業に関する情報などを幅広く市民の方に提供しました。

(8) 人権啓発への取組について

法人本部で全職員を対象とした外部講師による人権研修を開催しており、今年度も全職員を参加させました。参加した職員を講師として、ケアプラザ内で研修を行い、人権意識を高めました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

環境保護、限りある資源を有効に活用することを意識し、節電、ペーパータオルの廃止・自転車の積極的利用等、日常的に省エネルギー対策を励行しました。ゴミの減量化に努め、資源ゴミの徹底した分別収集に協力しました。

また植栽のボランティアをお願いし、職員と共に環境保全を行い環境美化に努めました。更に毎年、電力消費がピークとなる夏季には軽装での執務を心がけ、使わない電気はこまめに消し、節電に努めました。

## 【介護保険事業】

### ●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

#### 《職員体制》

地域包括支援センター職員 兼務 保健師等2名、主任ケアマネジャー2名  
社会福祉士2名、予防プランナー3名

#### 《目標に対する成果等》

お客様のできることを共に発見し、地域のつながりを維持しながら、有する能力に応じた柔軟な支援を行い、自立意欲の向上に繋げていくよう支援しました。

介護予防支援計画は生活機能の低下が生じた原因に対応し、且つ効果がみられるものとなりました。

お客様の介護予防支援計画を作成するに当たり、いつまでに目標が達成できるかわかるように、具体的な目標をたてました。

プラン作成時は、サービスの実施状況や効果を評価し、横浜市介護予防・日常生活支援総合事業も含めお客様、ご家族の要望をお聞きしてサービスの内容の見直しをしました。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

通常のサービス地域を訪問・出張する場合の交通費（実費）

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

予防プランナー会議を月1回開催、自立支援を基本として、インフォーマルも含め適切な支援が受けられるよう、事例検討を行った。

サービス事業所の選択については、公正・中立の立場で多様な総合的にサービスを調整しました。

自立度は高いが、軽度認知症や加齢により自己判断が難しい方の糖尿病管理について地域ケア会議を開催しました。

#### 《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
369	383	400	402	403	410
10月	11月	12月	1月	2月	3月
406	409	404	398	394	388

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

専任 常 勤： 4 名  
           非常勤： 1 名

兼任 常 勤： 1 名

《目標に対する成果等》

受け持ち件数を限度まで持ち、包括支援センターと連携し、困難ケースを積極的に担当することで地域の方々が住み慣れた場所で自立した生活が送れるように、貢献しました。

事業実施に当たっては、関係行政機関、地域の保険、医療、福祉、サービス事業所、地域の民生委員、ボランティアグループ等と密接な連携を図りサービス提供を行いました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

通常のサービス提供地域を越える訪問、出張が無かったため、実費負担はありませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

特定事業所として、法令順守し業務を行いました。

介護支援専門員として、専門性を高めるために月1回を目処に包括支援センターの主任ケアマネとの事例検討会を行いました。

包括主催の地域ケア会議に積極的に参加し、関係行政機関、地域の有識者と情報共有に努めました。

ケアマネ実習生を4名受け入れしました。

困難ケースについて、包括支援センターの協力を得て事業に参加させていただき、地域の方々の見守り、協力を得ることが出来ました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
194	195	191	195	194	190
10月	11月	12月	1月	2月	3月
186	196	186	193	182	181

● 通所介護・認知症対応型通所介護

通所介護

《提供するサービス内容》

- (ア) お客様が自立した日常生活を営むこと及びご家族のご負担を軽減させていただくことを目標に、お客様の心身の特性を踏まえ、お体の状況に応じて、入浴・排泄・食事等の介護等を行いました。在宅生活継続のためにご希望の方には個別機能訓練を行いました。また、ご家族に向けては、利用日の様子や介護医療に関する助言等を連絡帳で毎回報告し、年に1度、家族会を開催し情報交換を行いました。
- (イ) 事業の実施にあたり、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等との連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

(ア)	1割負担分（日）	2割負担分（日）
(要介護1)	692円	1,383円
(要介護2)	817円	1,634円
(要介護3)	947円	1,893円
(要介護4)	1,077円	2,153円
(要介護5)	1,206円	2,412円
(イ) 加算（日）		
入浴介助加算	54円	108円
サービス提供体制加算（Ⅱ）	7円	13円
個別機能訓練（Ⅱ）	60円	120円
送迎減算（片道）	-51円	-101円
介護職員処遇改善加算	1ヶ月のご利用単位数の1000分の40に相当する料金	
(ウ) 食費負担	700円	
キャンセル料	400円	

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:30 ~ 16:30

《職員体制》

介護予防通所介護と全員兼任

生活相談員 4名、介護職員 28名（うち4名は相談員と兼務）、

看護職員・機能訓練指導員（兼務）8名、調理員 5名、運転手 6名、事務 1名

《目標（取組、達成状況）》

自立した日常生活を営むことを目標に、お客様の心身の特性をふまえ、その有する能力に応じて、通所介護サービスを提供しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

清潔で安全な入浴、お客様のご意見・ご要望をメニューに反映させたすべて手作りの昼食とおやつその他、行事やレクリエーション等も季節感あふれるプログラムを提供しました。また、ご希望により個別機能訓練を実施し、お一人おひとりの体力に合った計画に基づいて、筋力維持・向上のための体操や歩行訓練を実施しました。

生活相談員、看護職員等が、ご家族やケアマネジャーとの連絡を密にし、より良いサービス提供に繋げました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

※ 単位は省略してください。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
1,003	1,038	987	1,058	1,035	1,006
10月	11月	12月	1月	2月	3月
1,023	1,000	1,024	954	845	950

認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

(ア) 認知症であるお客様が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の入浴・排泄・食事等の介護等及び機能訓練を行うことでご利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持、並びにご家族の身体の負担の軽減を図ることを支援しました。また、ご家族に向けては、利用日の様子や介護医療に関する助言等を連絡帳で毎回報告し、年に1度家族会を開催し情報交換を行いました。

(イ) 事業の実施にあたり、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等との連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

(ア)	1割負担分（日）	2割負担分（日）
(要介護1)	1,072円	2,144円
(要介護2)	1,188円	2,376円
(要介護3)	1,305円	2,609円
(要介護4)	1,422円	2,844円
(要介護5)	1,539円	3,077円
(イ) 加算（日）		
入浴介助加算	55円	109円
サービス提供体制加算（I）	13円	26円
個別機能訓練	30円	59円
送迎減算（片道）	-52円	-103円
介護職員処遇改善加算	1ヶ月のご利用単位数の1000分の68に相当する料金	
(ウ) 食費負担	700円	
キャンセル料	400円	

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:30 ~ 16:30

《職員体制》

生活相談員 5名、介護職員 22名（うち5名は相談員と兼務）、  
看護職員・機能訓練指導員（兼務）名、調理員 5名、運転手 6名、事務 1名

《目標》

認知症であるお客様が出来る限り自立した日常生活を営むことを目標に、お客様の心身の特性をふまえ、その有する能力に応じて、認知症対応型通所介護サービスを提供してまいりました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

温かい家庭的な雰囲気の中で、清潔で安全な入浴、お客様のご意見・ご要望をメニューに反映させたすべて手作りの昼食とおやつその他、行事やレクリエーション等も季節感あふれるプログラムを提供しています。また、ご希望により個別機能訓練を実施し、お一人おひとりの体力に合った計画に基づいて、筋力維持・向上のための体操や歩行訓練を行っています。頭の体操や機能訓練ボードによる脳トレに力を入れました。生活相談員、看護職員等が、ご家族やケアマネジャーとの連絡を密にし、より良いサービス提供に繋げました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
252	277	257	260	269	260
10月	11月	12月	1月	2月	3月
263	244	248	247	234	232

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- (ア) お客様の心身の特性を踏まえ、そのお体の状況に応じて、入浴・食事等の提供を行うとともに、運動器機能向上訓練を行いました。  
 (イ) 事業の実施にあたり、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等との連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

(ア)	1割負担分（月額）	2割負担分
要支援1	1,766円	3,531円
サービス提供体制強化加算（Ⅱ）	26円	52円
要支援2	3,621円	7,241円
サービス提供体制強化加算（Ⅱ）	52円	103円
(イ) 加算		
介護職員処遇改善加算	1ヶ月のご利用単位数の1000分の40に相当する料金	
(ウ) 食費負担	700円	
キャンセル料	400円	

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 10:00 ~ 16:00

《職員体制》

生活相談員 4名、介護職員 28名（うち4名は生活相談員兼務）、  
 看護師・機能訓練指導員（兼務）8名、調理員 5名、運転手 6名、事務 1名

《目標（取組、達成状況）》

自立した日常生活を営むことを目標に、ご利用者の心身の特性をふまえ、その有する能力に応じて、通所介護サービスを提供していきました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

お客様のご意見・ご要望をメニューに反映させたすべて手作りの昼食とおやつその他、行事やレクリエーション等も季節感あふれるプログラムを提供しました。自立支援の視点に立ち、住み慣れた地域や家で、安心して生活して頂けるよう、定期的に体力測定等を行いながら、体力の維持・向上を図りました。そして健康に過ごせるようお手伝いしました。

生活相談員、看護職員等が、ご家族やケアマネジャー、地域包括支援センターとの連絡を密にし、より良いサービス提供に繋げていました。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
20	21	21	20	21	21
10月	11月	12月	1月	2月	3月
22	22	19	16	14	11



平成29年度「横浜市大豆戸地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	14,174,000	431,416	14,605,416	14,605,416	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	0		0	321,140	321,140	
自主事業収入			0		0	
雑入	0	0	0	26,400	26,400	
印刷代	0		0	12,020	12,020	コピー代収入
自動販売機手数料	0		0	9,600	9,600	自動販売機手数料
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	4,780	4,780	公衆電話
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,990,000		3,990,000	3,990,000	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	677,071		677,071	677,071	0	
<b>収入合計</b>	<b>18,841,071</b>	<b>431,416</b>	<b>19,272,487</b>	<b>19,620,027</b>	<b>347,540</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>11,985,427</b>	<b>0</b>	<b>11,985,427</b>	<b>13,410,035</b>	<b>1,424,608</b>	
本俸	8,746,496		8,746,496	9,307,016	560,520	給与
社会保険料	1,510,997		1,510,997	1,646,825	135,828	社会保険料
手当計	1,239,661		1,239,661	1,967,921	728,260	期末手当、通勤手当、超過勤務手当等
健康診断費	34,579		34,579	34,579	0	健康診断料
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	439,438		439,438	439,438	0	退職共済掛金
その他	14,256		14,256	14,256	0	ハマふれんど
<b>事務費</b>	<b>430,000</b>	<b>0</b>	<b>439,600</b>	<b>1,942,180</b>	<b>1,502,580</b>	
旅費	10,000		10,000	8,311	1,689	出張交通費
消耗品費	71,500		71,500	88,210	16,710	事務用品等
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	36,000		36,000	136,796	100,796	コピーカウント料
通信費	82,750		82,750	338,218	255,468	電話料金・郵送費
使用料及び賃借料	9,600	0	9,600	9,600	0	
横浜市への支払分	9,600		9,600	9,600	0	自動販売機手数料
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	567,573	567,573	多目的室軽量ラック 倉庫の棚・自転車按分負担
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	19,187		19,187	59,264	40,077	賠償責任保険・業務災害保険
職員等研修費	0		0	4,000	4,000	研修費
振込手数料	41,000		41,000	41,799	799	EBサービス、為替手数料
リース料	30,453		30,453	51,868	21,415	フロアーマット等
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	21,000		21,000	74,436	53,436	町内会名簿の掲載等
その他	118,110		118,110	562,105	443,995	施設整備委託料、給与計算委託費等
<b>事業費</b>	<b>1,012,000</b>	<b>0</b>	<b>1,012,000</b>	<b>1,122,193</b>	<b>110,193</b>	
運営協議会経費	42,000		42,000	18,654	23,346	予算・指定額
指定管理料充当 事業	970,000		970,000	1,103,539	133,539	
<b>管理費</b>	<b>4,454,810</b>	<b>738,309</b>	<b>5,193,119</b>	<b>4,215,407</b>	<b>977,712</b>	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算・指定額
光熱水費	1,729,885	0	1,729,885	1,152,907	576,978	
電気料金	567,401		567,401	378,539	188,862	
ガス料金	448,042		448,042	299,508	148,534	
水道料金	714,442		714,442	474,860	239,582	
清掃費	1,379,060		1,379,060	1,152,282	226,778	日常清掃、定期清掃等
修繕費	474,000	738,309	1,212,309	905,416	306,893	予算・指定額
機械警備費	122,663		122,663	122,663	0	建物警備
設備保全費	749,202	0	749,202	749,199	3	
空調衛生設備保守	457,661		457,661	457,661	0	空調設備保守管理
消防設備保守	25,814		25,814	25,814	0	消防設備保守管理
電気設備保守	85,634		85,634	85,631	3	電気設備保守管理
害虫駆除清掃保守	38,720		38,720	38,720	0	害虫駆除
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	141,373		141,373	141,373	0	エレベーター保守管理
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	132,940	132,940	ゴミ回収費用
<b>公租公課</b>	<b>958,834</b>	<b>0</b>	<b>958,834</b>	<b>1,072,802</b>	<b>113,968</b>	
事業所税			0		0	
消費税	958,834		958,834	1,072,802	113,968	
印紙税			0		0	
その他( )			0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
<b>支出合計</b>	<b>18,841,071</b>	<b>738,309</b>	<b>19,588,980</b>	<b>21,762,617</b>	<b>2,173,637</b>	
差引	0	306,893	316,493	2,142,590	1,826,097	

自主事業費収入	970,000		970,000	0	970,000	予算・指定管理料に含む
自主事業費支出	970,000		970,000	1,103,539	133,539	
自主事業収支	0	0	0	1,103,539	1,103,539	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	9,600	9,600	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	9,600	9,600	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成29年度「横浜市大豆戸地域ケアプラザ」

収支予算書及び報告書(特別会計)<包括・介護予防・生活支援体制整備>

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	39,709,000	207,582	39,916,582	39,501,418	415,164	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	2,146,859	7,935,859	3,642,141	4,293,718	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当事業(包括)	0		0	48,150	48,150	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	40,500	40,500	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	98,050	98,050	
自主事業収入			0		0	
雑入	0	0	0	51,600	51,600	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	9,600	9,600	自動販売機手数料
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充充分)	0		0	42,000	42,000	受入研修費
その他(提案時控除 法人負担分)	2,541,483		2,541,483	2,541,483	0	
<b>収入合計</b>	<b>48,190,483</b>	<b>2,354,441</b>	<b>50,544,924</b>	<b>46,074,342</b>	<b>238,300</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>43,916,293</b>	<b>0</b>	<b>43,916,293</b>	<b>38,061,553</b>	<b>5,854,740</b>	
本俸	24,965,794		24,965,794	22,818,935	2,146,859	給与
社会保険料	6,001,271		6,001,271	5,040,948	960,323	社会保険料
手当計	11,718,575		11,718,575	9,114,891	2,603,684	期末手当、通勤手当、超過勤務手当等
健康診断費	63,184		63,184	54,310	8,874	健康診断料
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	1,118,063		1,118,063	984,563	133,500	退職共済掛金
その他	49,406		49,406	47,906	1,500	ハマふれんど
<b>事務費</b>	<b>560,000</b>	<b>0</b>	<b>560,000</b>	<b>1,819,599</b>	<b>1,259,599</b>	
旅費	27,950		27,950	56,079	28,129	出張交通費
消耗品費	55,040		55,040	70,806	15,766	事務用品等
会議随費	0		0	0	0	
印刷製本費	61,920		61,920	124,865	62,945	コピーカウント料
通信費	150,070		150,070	351,809	201,739	電話料金・郵送費
使用料及び賃借料	0	0	0	96,000	96,000	
横浜市への支払分	0		0	9,600	9,600	
その他	0		0	86,400	86,400	外壁工事に伴う駐車場代
備品購入費	0		0	487,265	487,265	多目的室軽量ラック 倉庫の棚・自転車按分負担
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	19,189		19,189	60,510	41,321	賠償責任保険
職員等研修費	0		0	14,000	14,000	研修費
振込手数料	17,630		17,630	75,081	57,451	EBサービス・為替手数料
リース料	13,095		13,095	36,141	23,046	フロアーマット等
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	15,000		15,000	34,636	19,636	社会福祉協議会費・大豆戸パンフレット等
その他	200,106		200,106	412,407	212,301	施設設備委託料、給与計算委託費等
<b>事業費</b>	<b>2,530,000</b>	<b>0</b>	<b>2,530,000</b>	<b>1,008,641</b>	<b>1,521,359</b>	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算:指定額
指定管理料充自主事業(包括)	1,440,000		1,440,000	88,355	1,351,645	
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000	191,987	40,987	予算:指定額
指定管理料充自主事業(生活支援)	309,000		309,000	224,299	84,701	予算:指定額
<b>管理費</b>	<b>1,184,190</b>	<b>0</b>	<b>1,184,190</b>	<b>924,281</b>	<b>259,909</b>	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	459,851	0	459,851	306,468	153,383	
電気料金	150,832		150,832	100,466	50,366	
ガス料金	119,101		119,101	79,407	39,694	
水道料金	189,918		189,918	126,595	63,323	
清掃費	366,584		366,584	306,301	60,283	日常清掃、定期清掃等
修繕費	126,000		126,000	44,418	81,582	予算:指定額
機械警備費	32,606		32,606	32,606	0	建物機械警備
設備保全費	199,149	0	199,149	199,149	0	
空調衛生設備保守	121,655		121,655	121,655	0	空調設備保守管理
消防設備保守	6,861		6,861	6,861	0	消防設備保守管理
電気設備保守	22,761		22,761	22,761	0	電気設備保守
害虫駆除清掃保守	10,292		10,292	10,292	0	害虫駆除
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	37,580		37,580	37,580	0	エレベーター保守管理
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	35,339	35,339	ゴミ回収費用
<b>公租公課</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他( )			0		0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
<b>支出合計</b>	<b>48,190,483</b>	<b>0</b>	<b>48,190,483</b>	<b>41,814,074</b>	<b>6,376,409</b>	
<b>差引</b>	<b>0</b>	<b>2,354,441</b>	<b>2,354,441</b>	<b>4,260,268</b>	<b>6,614,709</b>	

自主事業費収入	1,900,000		1,900,000	186,700	1,713,300	予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	1,900,000		1,900,000	504,641	1,395,359	
自主事業収支	0		0	317,941	317,941	⇒自主事業(指定管理料充自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			9,600		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			9,600		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市大豆戸地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日  
(単位:千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護	認知症対応型 通所介護
収入	介護保険収入	11766	39417	111169	6760	47649
	その他	12831	516	1286	0	0
	介護予防ケアマネジメント 費	12831				
	事業・負担金収入					
	認定調査委託料		516			
	受入研修収入			541		
	寄付等			7		
	その他			738		
	<b>収入合計(A)</b>	<b>24597</b>	<b>39933</b>	<b>112455</b>	<b>6760</b>	<b>47651</b>
支出	人件費	4571	30606		74786	28317
	事務費	92	2016		6128	1967
	事業費	0	52		10245	2650
	管理費	0	0		8710	2242
	その他	14843	7739		19452	12475
	利用者負担軽減額				0	140
	消費税				2	2
	介護予防プラン委託料	9398				
	本部繰入金	5445	7739		19450	12333
	その他					
<b>支出合計(B)</b>	<b>19506</b>	<b>40413</b>		<b>119321</b>	<b>47651</b>	
<b>収支 (A) - (B)</b>	<b>5091</b>	<b>-480</b>		<b>-106</b>	<b>0</b>	

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市大豆戸地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ぐーピー	<p><b>【対象者】</b> 個別支援級に通う小学4～中学3年生</p> <p><b>【目的】</b> 障がい児を対象とした放課後余暇支援を行い、地域住民からなるボランティアとの交流を図り、社会規律等を学ぶ機会とする。</p> <p><b>【実施内容等】</b> 工作、ゲーム、おやつ作りなどのレクリエーション。季節に応じた正月遊びやクリスマス会なども行う。</p>	毎月1回 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
まめっこくらぶ	<p><b>【対象者】</b> 8か月以上の乳幼児とその保護者</p> <p><b>【目的】</b> 同じ地域で生活する子育て世帯同士の交流を図るとともに、母親自らイベント、講座の希望を挙げ、参画意識や当事者を持ってもらうことで、将来の担い手となり得る人材の育成を図る。</p> <p><b>【実施内容等】</b> NPOぽけっとを講師としての工作、手遊びの母親参画イベント。ヘルスメイト共催によるおやつ作り講座 等</p>	毎月1回 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママとハグハグ	<p><b>【対象者】</b> 4か月から1歳未満の乳幼児とその保護者</p> <p><b>【目的】</b> 1歳未満の乳幼児と保護者同士の交流を図る。また、乳幼児ならではの悩みや、地域に関する情報交換を積極的に行えるサロンとして開催。</p> <p><b>【実施内容等】</b> 手遊びや絵本の読み聞かせ、遊び場や地域情報などの座談会 等</p>	4月20日 8月3日 11月9日 1月11日・ 年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ひとつぶの会	<p><b>【対象者】</b> ボランティア活動を行う地域住民</p> <p><b>【目的】</b> ケアプラザや地域で活動するボランティア同士の交流会及び勉強会、施設見学などを行い、ボランティアの育成、資質向上を図る。</p> <p><b>【実施内容等】</b> ケアプラザ自主事業へのボランティア依頼、福祉関連施設見学の企画・実施</p>	毎月1回 計12回

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市大豆戸地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
初めての川柳教室	<p>【対象者】 高齢者</p> <p>【目的】 川柳を題材に、高齢者を対象として、認知症予防、地域住民同士の交流を図る。</p> <p>【実施内容等】 講師による参加者作品の講評と川柳についての講義を行う。</p>	5～9月・月1回 全5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大倉山 さくらまつり	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 大倉山地区主催の事業。地域住民に向けたケアプラザの周知及び地域貢献</p> <p>【実施内容等】 ケアプラザ特製メニューの「まめっち丼」の販売（売上個数312杯・2回分）、ゆるキャラ「まめっち」を出場、ケアプラザで主催する事業の周知を行う。</p>	平成29年 4月1日・ 平成30年 3月31日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
どろっぷデー	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 地域子育て支援拠点主催事業。地域住民に向けたケアプラザの周知及び地域貢献</p> <p>【実施内容等】 ケアプラザ特製メニューの「まめっち丼」の販売（販売個数169杯）、地域ケアプラザの周知や、自主事業の広報を行う。</p>	6月10日・ 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
開港祭	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 ケアプラザ周知及び地域貢献を図る。</p> <p>【実施内容等】 ゆるキャラパレードに参加、参加者との交流を図る。（まめっち）</p>	6月1日・年1回

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市大豆戸地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
夏休み木工教室	<p><b>【対象者】</b> 小学生</p> <p><b>【目的】</b> 小学生のケアプラザ来館機会の創出を図る。小学生およびその保護者へのケアプラザ周知。</p> <p><b>【実施内容等】</b> 夏休みの宿題対策を目的に、木工作品を製作する。</p>	8月7日(月) ・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
職業体験	<p><b>【対象者】</b> 港北区内の中学校 個別支援級在籍の生徒</p> <p><b>【目的】</b> 夏休み期間を利用して、就労を希望する障がい児(中高生)に職業体験の場を提供、当事者家族へ住み慣れた地域にある就労施設を知ってもらい、地元へ愛着をもってもらおう。</p> <p><b>【実施内容等】</b> 菊名地区にある就労支援施設のカフェにて、一日店員を体験する。</p>	8月25日(金) ・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ウォータープラザまつり	<p><b>【対象者】</b> 地域住民</p> <p><b>【目的】</b> 横浜市水道局主催。地域住民に向けたケアプラザの周知及び地域貢献</p> <p><b>【実施内容等】</b> ケアプラザ特製メニューの「まめっち丼」の販売(販売個数150杯)、地域ケアプラザの周知、自主事業の広報を行う。</p>	10月14日 ・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーターDVD鑑賞会	<p><b>【対象者】</b> DVD制作関係者及び地域住民</p> <p><b>【目的】</b> 認知症サポーター養成講座で活用するDVDのお披露目及び認知症サポーター養成講座への関心を持っていただく。</p> <p><b>【実施内容等】</b> DVD制作関係者からの紹介及び鑑賞会、出席者同士の交流等</p>	8月28日 ・年1回

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市大豆戸地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ワクワクまつり	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 港北区国際交流ラウンジと共催。地域住民との交流を図り、地域ケアプラザと国際交流ラウンジをより良く知ってもらう。</p> <p>【実施内容等】 。地域団体、関係団体に模擬店、ステージ出演などに出演協力を得る。ケアプラザでは、特製「まめっち丼」（販売個数148個）、ぜんざい（販売個数77個）を販売する。</p>	10月8日・ 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
3R夢まつり	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 資源循環局主催。地域住民に向けたケアプラザの周知及び地域貢献</p> <p>【実施内容等】 ケアプラザ特製メニューの「まめっち丼」の販売（販売個数186杯）、地域ケアプラザの周知、自主事業の広報を行う。</p>	11月19日・ 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こども食育教室	<p>【対象者】 小学生</p> <p>【目的】 小学生対象の事業を実施することで、小学生およびその保護者に向けて、ケアプラザの周知・広報を行う。</p> <p>【実施内容等】 ヘルスメイトを講師に、デンバートースト・野菜スープ作り、栄養に関する講座を行う。</p>	2月18日・ 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで一緒にクリスマス会	<p>【対象者】 乳幼児とその両親</p> <p>【目的】 地域及び家族間同士の交流を図る機会を提供する。保護者（両親）への参加促しにより、当該の世代に対してのケアプラザ周知を図る。</p> <p>【実施内容等】 家族紹介、グループによる演目の披露（ハンドベル演奏など）、サンタクロースによるプレゼント、記念写真等</p>	12月17日・ 年1回



# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市大豆戸地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子ども書き初め教室	<p>【対象者】 小学生</p> <p>【目的】 居場所と日本文化学習の場を提供しケアプラザに足を運んでもらう。ケアプラザの周知、児童同士の交流を図る。</p> <p>【実施内容等】 書道講師による冬休み課題の書道の添削、指導を行う。</p>	12月26日・ 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域ワカリマス研修	<p>【対象者】 地域の福祉保健に関わる関係者</p> <p>【目的】 区役所が発行している地域統計を基に、地域の福祉保健関係者に対する研修を行うことで、より地域に対する愛着や地域活動への参考としていただく。</p> <p>【実施内容等】 地域統計の著者であり、歴史学者である方を講師に、統計の見方や見解を解説</p>	1月17日・ 2月21日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア感謝会	<p>【対象者】 ボランティア</p> <p>【目的】 ボランティア同士の交流会および感謝会（昼食会・コンサート）</p> <p>【実施内容等】 ボランティア同士の交流、昼食会、ミニコンサートの開催等</p>	2月28日・ 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大倉山ささえあいまつり	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 大倉山地区主催の事業。地域住民に向けたケアプラザの周知及び地域貢献</p> <p>【実施内容等】 ケアプラザ特製メニューの「まめっち丼」の販売（売上個数185杯）ケアプラザで主催する事業の周知を行う。</p>	3月10日・ 年1回



# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市大豆戸地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
スリーA教室	<p>【対象者】 地域住民・高齢者</p> <p>【目的】 地域の方々に広く認知症の理解と予防をひろめていく。支援者は地域のリーダー養成講座を受けた方々が行い、相談窓口で外出、交流の機会を必要としている方に対して集いの場を提供していく。地域住民同士が支えの場として、各地域に上げられるように支援していく。</p> <p>【実施内容等】 「あかるく、あたまを使って、あきらめない」 認知症予防の体操</p>	毎月2回 計24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
自立したおとこの料理講座 (OB会)	<p>【対象者】 地域住民、男性高齢者</p> <p>【目的】 地域の男性の方に料理を通して交流のきっかけを作り、他の事業にも参加してもらうようにする。</p> <p>【実施内容等】 料理、昼食</p>	年5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
まめどのサロン	<p>【対象者】 地域住民、高齢者</p> <p>【目的】 地域住民がいつでも気軽に立ち寄り、楽しむことができる集いの場・通いの場として運営。参加者と地域住民で構成されたボランティア・支援者が交流し、介護予防を兼ねた集いの場とし、地域が主体となって支え合いが継続できる居場所を作る。</p> <p>【実施内容等】 切り絵、麻雀、絵手紙、トランプ、囲碁、習字</p>	月1回 (10月は休み) 計11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
新横浜スクエアステップ	<p>【対象者】 地域住民、高齢者</p> <p>【目的】 大豆戸地域ケアプラザにこられない地域の方々に向けに開催した介護予防事業の開催後の集いとして要望の多かったスクエアステップ教室を開催し、今後は自主化を目標として行う。</p> <p>【実施内容等】 マス目状のマットを歩き介護予防運動</p>	月1回 計12回

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市大豆戸地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
まめゆる一む	<b>【対象者】</b> 介護保険を使用前の高齢者を対象 <b>【目的】</b> 地域の高齢者が気軽に集まり、仲間との相互のふれあいを通じて、楽しみや心に張りがある機会の提供。体操やレクリエーションをする事で、身体を動かしたりストレッチにより介護予防を目的に開催。 <b>【実施内容等】</b> ストレッチ、脳トレ	月1回 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
まめどの歌声プラザ	<b>【対象者】</b> 地域住民・高齢者 <b>【目的】</b> 住民同士の交流の場の提供。声を出すことで心身機能の活性化させ介護予防を図る。 <b>【実施内容等】</b> 季節に合わせた歌を講師と参加者で合唱	年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
フラダンス講座	<b>【対象者】</b> スリーA支援者、ケアプラザ事業支援者、ボランティア <b>【目的】</b> 支える側も元気で長く続けていただくために健康づくりに役立ててもらおう。 <b>【実施内容等】</b> フラダンス	年5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シニア向けタブレット講座	<b>【対象者】</b> 地域住民、高齢者 <b>【目的】</b> 基本的な操作方法、活用方法を学んでいただき、自立した生活の継続手段としてITの使用を生活に取り入れていただく。 <b>【実施内容等】</b> タブレット操作	年2回

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市大豆戸地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
大豆戸・新横浜地区 地域出張講座・ 出張相談会	<p>【対象者】 地域住民・民生委員</p> <p>【目的】 大豆戸・新横浜地区における普及啓発の必要性のあるものの講座を開催し、広く知っていただくとともに地域ケアプラザを知っていただく。 出張相談会を合わせて開催し、問題の早期発見に取り組む。 民生委員との連携強化。</p> <p>【実施内容等】 成年後見制度講座・消防講座・栄養講座・転倒予防講座</p>	各地区年約3回 計8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
法テラス	<p>【対象者】 高齢者・障害者・低所得者・生活保護など</p> <p>【目的】 弁護士による無料相談会により、弁護士料金に不安のある方でも法律相談の機会を設ける。</p> <p>【実施内容等】 1組30分程度の相談時間を設け、弁護士との1対1での相談会</p>	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
行政書士無料相談会	<p>【対象者】 高齢者・障害者・地域住民</p> <p>【目的】 行政書士による無料の法律相談の場を設け、成年後見制度や相続などの相談の場を設ける。</p> <p>【実施内容等】 1組30分程度の相談時間を設け、行政書士との相談会。 1回3組を3クール行う予定。</p>	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
消費者被害予防講座	<p>【対象者】 地域住民・高齢者</p> <p>【目的】 消費者被害の普及・啓発、現在の手口や被害状況を知ってもらい、予防を図る。</p> <p>【実施内容等】 大豆戸地域ケアプラザにて無料講座を行った。</p>	年1回

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市大豆戸地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
大倉山スリーA	<p>【対象者】 地域住民・高齢者</p> <p>【目的】 近隣のマンションにお住まいの方々の高齢化に伴い、引きこもりがちな高齢者の認知症の予防を目的とした通いの場を作る。地域の支援者に協力してもらい、介護予防の地域の担い手を育成する場とし自主化を目指す。</p> <p>【実施内容等】 「あかるく、あたまを使って、あきらめない」 認知症予防の体操</p>	月1回 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数





